

仙台高等専門学校 産学連携振興会

平成 28 年度 活動報告

★第 1 回企画部会

日 時：平成 28 年 5 月 9 日（月） 16：00～17：30

場 所：仙台高等専門学校 名取キャンパス 第二会議室

★役員会・定時総会 及び 講演会・教員研究発表会 ※別紙 1 参照

日 時：平成 28 年 5 月 24 日（火） 14：00～17：15

場 所：TKP カンファレンスセンター ホール 3A、3 階カンファレンス 3A

役員会 （14：00～14：45）

定時総会（15：00～15：40）

講演会（15：40～16：40）

演 題 「レーザーによる有機材料加工」

講 師 仙台高等専門学校校長 福村 裕史 氏

教員研究発表会（16：45～17：15）

・情報システム工学科 教授 熊谷 和志

「リンク機構を用いた一般自転車用高効率ペダリング機構の開発」

・総合科学系 准教授 笠松 直

「カリキュラム改変等に対応する社会科教員の教育・研究機能強化」

・情報システム工学科 准教授 岡本 圭史

「モデルベース開発に基づくプロセス改善に関する研究」

・総合科学系理数科 教授 今野 一弥「Mg 基超軽量高強度合金における新規微細構造」

・機械システム工学科 准教授 高橋 学

「超音波とレーザードップラー振動計を用いた温度計測法の開発」

・機械システム工学科 助教 奥村 真彦「おがくずのホットプレス成形に関する研究」

★座談会

日 時：平成 28 年 7 月 13 日（水） 17：00～18：00

場 所：ホテル JAL シティ仙台 会議室ローズ I II

★課題解決型インターンシップ

14社で30名の学生受入を行った(宮城県紹介企業4社も含む) ※別紙 5 参照

文部科学省「インターンシップ好事例集」に掲載

http://www.mext.go.jp/b_menu/internship/

→上記 URL より、インターンシップ好事例集-教育効果を高める工夫 17 選- (PDF) をクリック

★第2回企画部会

日 時：平成28年10月7日（金）16:00～17:30

場 所：仙台高等専門学校 広瀬キャンパス 第一会議室

★東北地区高等専門学校 専攻科産学連携シンポジウム ※別紙2参照

日 時：平成28年11月26日（土）～27日（日）

場 所：仙台高等専門学校 広瀬キャンパス

基調講演（参加した専攻科学生向け）

演 題 「みやぎで仕事をしよう！」

講 師 バイスリープロジェクト株式会社代表取締役 菅野 直 氏

★会員企業理解推進事業「企業見学ツアー」 ※別紙3参照

日 時：平成29年2月27日（月）～28日（火）

★産学官交流技術フォーラム ※別紙4参照

日 時：平成29年3月8日（水）15:00～17:30

場 所：TKP 仙台カンファレンスセンター

講演（15:10～16:10）

演題：「宮城県産業技術総合センターの企業支援と産学官連携活動」

講師：宮城県産業技術総合センター 所長 守 和彦 氏

教員研究発表会（16:10～17:30）

・情報ネットワーク工学科 教授 奥村 俊昭

「音響、画像データを用いたセグメンテーションとその解析結果の多次元表現に関する研究」

・情報電子システム工学専攻 准教授 柏葉 安宏 「酸化亜鉛のデバイス展開」

・情報ネットワーク工学科 助教 衣川 昌宏 「計測セキュリティの研究概要」

・情報ネットワーク工学科 教授 脇山 俊一郎

「エリア放送を活用したローカルな情報発信の新たな方法の研究」

・マテリアル環境工学科 教授 浅田 格

「金属材料の高強度化に関する研究～高機能性次世代窒化鋼のための基礎研究～」

・総合科学系理数科 教授 鈴木 勝彦 「非対称三角波励起振動による銅導電膜の抵抗率低下法を用いた還元剤添加による低下効果の推進」

・総合科学系文科 教授 武田 淳

「反転学習を活用した教授法改善の提案：専門学科と英語科とのコラボレーション」

・機械システム工学科 助教 奥村 真彦「おがくずのホットプレス成形に関する研究」

★その他

1. 産学連携振興会リーフレットを作成した

2. 国際交流支援事業として海外長期インターンシップに行く学生へ支援を行った

3. 国際交流支援事業として仙台高専がメインとなり開催した国際会議（ISATE2016）に支援した
※別紙6参照

4. オープンキャンパスで広報活動を行った

産学連携振興会 役員会及び定時総会が開催されました

5月24日（火）に本校の企業協力会である「仙台高等専門学校 産学連携振興会」の平成28年度の役員会及び定時総会が仙台駅近くのTKPカンファレンスセンターで開催されました。多くの法人会員、個人会員、顧問の方々に参加いただき、詳細に渡り審議をしていただきました。

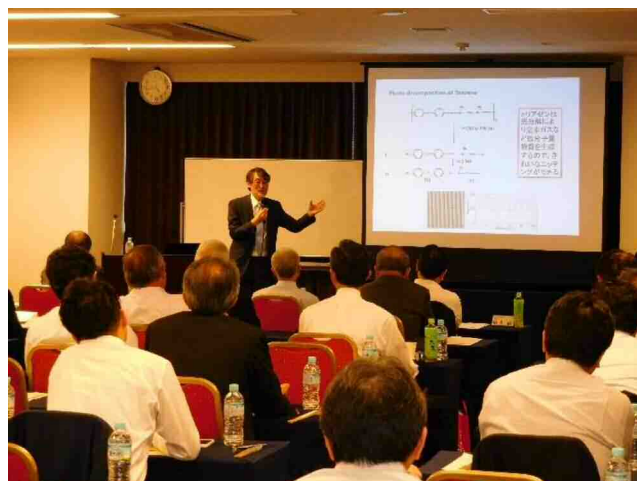
定時総会終了後には本校の福村 裕史校長より「レーザーによる有機材料加工」という演題で、ご自身の研究等についてご講演があり、本校教職員を含め約60名の参加者が熱心に聴講しました。その後、本校の熊谷和志教授、今野一弥教授、笠松直准教授、岡本圭史准教授、高橋学准教授、奥村真彦助教の6名により昨年度の研究内容や成果等についての発表がポスターセッション形式により行われました。参加した企業の方からは、活発な質疑応答があり、会場は大変盛り上がりしました。

仙台高専産学連携振興会では、本校と会員との交流を通じて、地域の発展に寄与するため、学生が地域企業を理解するための事業や、技術交流、講演会の開催等の事業を展開しています。また、本校学生への支援事業として、5年生の海外長期インターンシップ派遣学生への渡航費の一部援助などのご支援をいただいております。

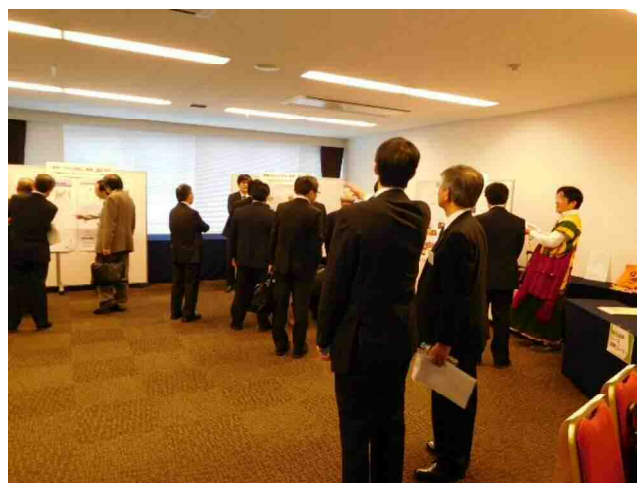
（研究推進センター）



1 総会の様子



2 福村校長の講演



3・4 教員研究発表の様子

11月26日(土)、27日(日)に仙台高専広瀬キャンパスにおいて、平成28年度東北地区高等専門学校専攻科産学連携シンポジウムが開催されました

1日目の26日(土)には、仙台高専の福村校長の開会挨拶の後、本会理事のバイスリープロジェクト株式会社代表取締役の菅野様から「みやぎで仕事をしよう！」と題して基調講演がありました。過去30年の振り返りから、今後の働き方の変化を見据え、ふるさとで仕事をすることを提案する内容で、参加者全員が聴講し、講演後には活発な質疑応答がなされました。

次に、東北地区の各高専から選出された21名による自身の研究成果や、インターンシップ報告を加えたショートプレゼンテーションが行われました。4分という限られた時間の中、発表者は要点をまとめて発表していました。

2日目の27日(日)には、161件のポスター発表が行われました。学生同士のディスカッションはもちろん、来場した教員や本会会員の皆さんから質問を受け、一生懸命説明する姿があちこちで見られ、例年にも増して充実した会となりました。

本会の会員である地元企業8社の皆様にもご出展いただき、企業のPRを、東北6高専の学生にさせていただきました。

また、本会からは、優秀な発表に対して、楯と副賞の提供をしており、審査の結果、最優秀賞は福島高専の小野田崇司さんに決まり、その他の賞とともに、理事の大崎様より本人たちへ直接授与されました。

こうして、2日間にわたって行われた専攻科産学連携シンポジウムは大盛況のうちに終了となりました。

<産学連携振興会各賞、受賞者は以下の通り>

最優秀賞

福島工業高等専門学校 小野田 崇司

優秀賞（3名）

仙台高等専門学校（広瀬） 鈴木 勇人

一関工業高等専門学校 小野 祐耶

福島工業高等専門学校 坂本 舞央

特別賞(会長賞：産学連携振興会会長が選定)

一関工業高等専門学校 佐藤 瑞稀

特別賞(学生賞：参加学生全員の投票により決定)

福島工業高等専門学校 小野田 崇司

ポスター賞 (学生以外の来場者の投票にて決定)

八戸工業高等専門学校 阿部 隼也

仙台高等専門学校(広瀬) 奥村 知也

仙台高等専門学校(広瀬) 佐久間 諒

インターンシップ奨励賞 (学生以外の来場者の投票にて決定)

仙台高等専門学校(名取) 後藤 淳治、佐藤 颯太郎、西塚 悠羽、松崎 翔

仙台高等専門学校(名取広瀬合同) 小野 大輔、小川 弘人、村上 真純、庄司 義和

仙台高等専門学校(名取) 阿部 圭史



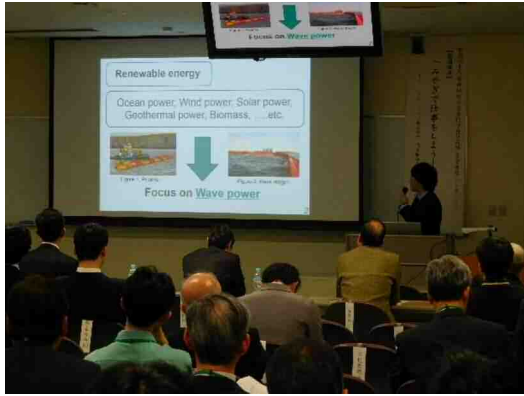
仙台高専 福村校長による開会挨拶



基調講演

バイスリープロジェクト(株)

代表取締役 菅野様

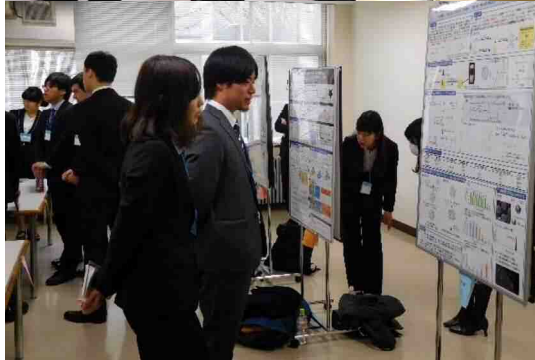


ショートプレゼンテーションの様子

ショートプレゼンテーション講評
 産学連携振興会会長
 株 仙台ニコン 取締役社長 村石様



ポスターセッションの様子





受賞者と振興会理事 大崎様と仙台高専福村校長

産学連携振興会企業見学ツアーを実施しました

2月27日、28日に本会の会員企業22社を仙台高専の本科3年生～専攻科1年生が、13のコースに分かれて見学する、企業見学ツアーを実施しました。

これは、地元企業の理解を深めるため、本会と仙台高専が協力して計画したイベントで、宮城県及び岩手県の企業を見学しました。

見学時間は1社当たり2時間で、業務内容の説明や、工場の見学、その企業で働いている仙台高専OB・OGとの歓談等、企業によって内容は様々でした。学生はメモを取ったり、作業の様子に見入ったり、積極的に質問したりと、真剣に臨んでおり、企業を知る上で貴重な経験となりました。

お忙しいところ受け入れていただいた企業の皆様には、心より感謝申し上げます。

(事務局)

★見学コース（A～F：2/27、G-1～K：2/28）

コース	見学先
A	(株)NEC トーキョー、北日本電線(株)
C	(株)ピッツ、パイオニアシステムテクノロジー(株)
D	NEC ネットイノベーション(株)、(株)SJC
E-1	東京エレクトロン宮城(株)、(株)NTK セラテック
E-2	東京エレクトロン宮城(株)、産電工業(株)
F	創造技研(株)、(株)ケーヒンエレクトロニクステクノロジー
G-1	(株)興盛工業所、日鐵住金建材(株)仙台製造所
G-2	(株)竹中工務店 東北支店、日鐵住金建材(株)仙台製造所
H	(株)ケーヒン、東北三和網器(株)
I	(株)メンバーズ、(株)ミライト
J-1	(株)東北電力、ソニーストレージメディア・アンド・デバイス(株)
J-2	(株)東北電力、ソニーコーポレートサービス(株)
K	アイシン・コムクルーズ(株)盛岡開発センター

★見学先での集合写真



平成28年度「産学官交流技術フォーラム」を開催しました！

平成29年3月8日(水)に仙台駅近くのTKPカンファレンスセンターを会場に、仙台高専産学連携振興会主催による「産学官交流技術フォーラム」を開催いたしました。

今回のテーマは、「仙台高専の研究力を探る～その次のステージを目指して～」で、会員と仙台高専教職員あわせて約40名が参加しました。

本会会長村石様の開会の挨拶の後、本会顧問でもある宮城県産業技術総合センター所長の守様に「宮城県産業技術総合センターの企業支援と産学官連携活動」という題目でご講演いただきました。

その後、仙台高等専門学校浅田格教授、鈴木勝彦教授、武田淳教授、奥村俊昭教授、脇山俊一郎教授、柏葉安宏准教授、奥村真彦助教、衣川昌宏助教の8名による研究発表が行われました。1時間半のうち前半をショートプレゼンテーション、後半をポスターセッションとして、自身の研究内容や成果等の発表がありました。参加された方からは、活発な質疑応答があり、会場は大変盛り上がりました。(産学連携振興会事務局)



守様のご講演の様子



ショートプレゼンテーションの様子



ショートプレゼンテーションの様子



ポスターセッションの様子

課題解決型インターンシップ

学生教育関係活動

学生の就業体験を主目的とする従来のインターンシップとは異なり、学生が1～3ヶ月の期間、地元企業の実際の課題に挑戦し、その課題を解決することを目的として平成27年度から始まった新しい取り組みです。

＜参加企業、参加学生数＞

対象学生：専攻科1年生

対象企業：・仙台高専の企業協会である
産学連携振興会の会員企業
・宮城県内で活動している企業のうち
取り組みに賛同のあった企業

実施企業	宮城県紹介企業	産学連携振興会企業
申込企業	6社	18社
実施企業	4社	10社
学生	13名	17名

※1社は1企業で2期間の設定があったため企業数が1多い

＜平成28年度スケジュール＞

- 4月 企業への案内
- 5月 企業からの申込締切
企業説明会
- 6・7月 学生希望調査・派遣先決定、
学生の面談実施、採用決定、覚書取り交わし
- 8・11月 インターンシップ期間、コーディネータ巡視、
中間発表、最終発表
- 11・12月 学内報告会



実施期間	5週間以内	6～10週間	11週間以上
実施企業	3社	6社	6社
学生	6名	12社	12名

参加した学生の感想

- インターンシップが終わってしまい、非常にさびしい思いが強い。もっとチームや会社の方と開発を続けたかった。また、プログラムの勉強をしてみたいと思うようにもなった。インターンが始まったときは後7週間もあるのかと思っていたが、会社の方が気さくに話しかけてくれることもあり、とても楽しく充実した実習の日々はすぐ終わってしまった。
- 今まで学校で学んできたことが、就職後どのような形で生かされるのか体感した。
- 学校では気付けない現場で求められる能力について、改めて知ることができた。学校生活に戻っても、このインターンシップで学んだことを技術者として社会に出るときまで覚えておきたいと思う。
- 本科生の頃は「仕事」のイメージができなく、ただ闇雲に就職活動をするしかなかったが、今回のインターンシップで一つの企業に長くお世話になり、会社の一員として与えられた仕事をこなすことにより、「会社」、「仕事」がどのようなものなのか知ることができ、就活をするうえでの貴重な糧になったのでインターンシップに参加して本当によかった。



受入れ企業の感想

- 今年度のインターン生も、とても優秀で、こちらから特に指示をしなくとも、自ら課題解決に向けて事業を進めていた印象が強いです。こちらの社員にとっても、勉強になる点が多く、刺激になったことは間違いありません。
- 今回、弊社でも初めてこのような作業分析を実施できたことで非常に多くの有益な情報を得ることができました。新たな問題点が次々に見つかり、期間があれば更に濃い情報を得られたと考えると残念です。今後は社内で調査を引きつぎ、展開して生きたいと考えております。



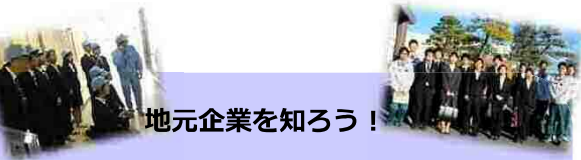
Another News

君の活躍の舞台がここにある。

平成28年3月、産学連携振興会の会員企業のうち掲載に希望があった46社を掲載した地域企業情報パンフレットを作成しました。会社概要や事業内容、さらに学生へのメッセージも記載されています。パンフレットは全学年の学生とその保護者に配付しました。



地元企業を知ろう！



平成29年2月27日・28日に3年生～専攻科1年生の60名が参加し、企業見学ツアーを実施しました。地域企業の理解促進を目的として、産学連携振興会会員のうち宮城県と岩手県の企業22社を13コースに分かれて訪問させていただきました。

最新情報

[ホーム](#) [最新情報TOP](#) [新着情報](#)

新着情報

国際シンポジウムISATE2016が開催されました

新着情報

[名取キャンパス](#)
[広瀬キャンパス](#)

お知らせ

[お知らせ](#)
[名取キャンパス](#)
[広瀬キャンパス](#)

活動報告

[活動報告](#)
[名取キャンパス](#)
[広瀬キャンパス](#)

在学生・保護者向け連絡事項

[在学生・保護者向け連絡事項](#)
[名取キャンパス](#)
[広瀬キャンパス](#)

以前のお知らせ・活動報告

[以前のお知らせ・活動報告](#)

最新記事のフィード

[最新記事のフィード](#)

アーカイブインデックス

[最新情報](#)

2016年9月26日

9月13日（火）から16日（金）の4日間、国際シンポジウムThe International Symposium on Advances in Technology Education (ISATE) 2016が東北大学工学部キャンパスを会場に開催されました。ISATEは高専機構及びシンガポールの5つのポリテクニクス（※）が主催、長岡技術科学大学と豊橋技術科学大学が共催し、高等教育における実践的な教育手法の知見を共有することを目的としています。ISATE2016の運営は仙台高専が担当し、そのテーマをFuture Prospects of Technology Education Models and Approachesとして掲げ、広い意味でのアクティブラーニング推進について議論することを目的としました。シンガポール、香港、フィンランド、モンゴル、タイ、フランス、メキシコなどの海外からの83人を含めて約200人の参加者によりアクティブラーニングについて様々な角度から議論され、有意義な会議になりました。ISATEは2007年から継続して開催され、ISATE2016では10周年記念事業も合わせて挙行されました。会場を提供して頂いた東北大学工学部をはじめ、国内外の関係機関と運営関係者に御礼申し上げます。

※Temasek Polytechnic, Singapore Polytechnic, Republic Polytechnic, Nanyang Polytechnic, Ngee Ann Polytechnic



▲このページの先頭へ

入試情報について

2017年4月20日 平成30年度

専攻科学生募集要項